



生体模倣システム (MPS) の概要・活用事例 および FDA・EMA の動向

TissUse 社の生体模倣システム (Microphysiological System: MPS) は臓器細胞をマイクロ流体チップ上に培養することで、チップに接続されたポンプにより細胞へほぼ生体と同様の栄養素と酸素の供給が可能となります。それにより医薬品・化粧品・化学薬品・食品添加物などのさまざまな物質の分布と代謝の詳細な研究が可能になり、物質の影響を予測できるようになる技術です。

本ウェビナーでは、TissUse 社 CEO である Reyk Horland 博士より、MPS 技術の概要やケーススタディ、FDA・EMA の動向について解説します。

日 程 : 8 月 4 日 (金) 15:00 ~ 16:00 (予定)

利用ソフト : Microsoft Teams

主 催 : 日本バリデーション・テクノロジーズ株式会社

参 加 費 : 無料

講 演 者 : **Reyk Horland 博士**

CEO , TissUse GmbH < 逐次通訳有り >

講演内容 : ① Technology Overview

② Case Studies

*Intestine - Liver Chip *Skin - Liver Chip *Human on a Chip

③ The trends of FDA and EMA

申込方法 : contact@validation.co.jp 宛てにメールにてお申込みくださいませ。

2 営業日以内に受付完了の連絡を申し上げます。

連絡がない場合はお手数ですがお電話にて (050-3536-1817) ご連絡くださいませ。

